

# 大興、DX一貫支援

## 中堅・中小向け全国展開

大興（広島市中区、浜本英亮社長）は、中堅・中小企業を主な対象に製品開発からアフターサービスまでデジタル変革（DX）を支援する事業を始めた。設計、生産、販売や知的財産戦略も含めDXに意欲がある中堅・中小を開拓する。設計など個別のDX支援は他社も手がけるが、一貫型は少ないという。顧客の事業全体に最適なDXの提案を図り、全国で受注を増やす。

### 子会社7社連携

大興は完全子会社7社が設計、製品マニユアル（使用説明）、業務基幹システム、知財戦略、人材派遣など個々のサービスを手がけている。7社は連携し個別や個別の組み合わせ、または一貫型のDXを、ニーズに合わせて切れ目のないワンストップサービスとして提

案する。全国でサービスを展開する。受注目標は今後詰める。

大興は顧客が自動車や機械、電機メーカー



など300社以上で設計やマニユアル、人材派遣などに強い。DXでは製品事業の全体視点から最適な形態を築くのが望ましい。しかし設計やシステムなど個別にとどまり、全体最適を図れない場合が多いとい

立体映像で閲覧を容易にする大興子会社のマニユアル技術

う。特に中堅・中小はDX構築の着手箇所や全体像、資金などの把握が難しく導入ハードルは高い。

大興はこうしたソリユーション（課題解決）へのニーズをとらえ、子会社7社による一体サービスを開始した。7社は技術者以外も含めると全体で約700人と、大手の技術サービス事業並みの体制も築く。設計や機能をデジタル化する先進のモデルベース開発（MBD）や、外部特許に抵触せず迅速な開発を支援する知財戦略などでもDXマニユアルをそろえている。顧客のモノづくり現場の調査や分析、可視化から着手し、求められる領域において全体最適のDX構築を提案する考え。